

# 君に贈る物語

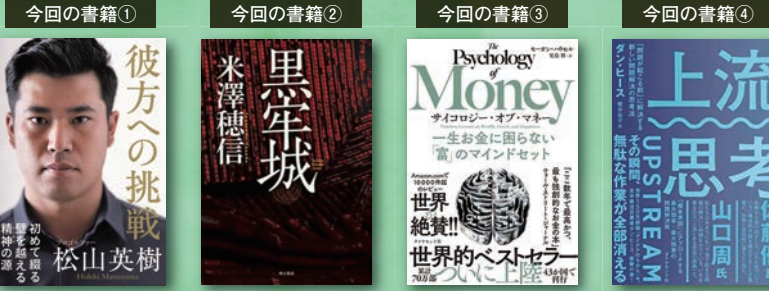
特別編

副社長から皆様へ、  
本のレコメンデーション!!



取締役副社長  
磯貝 健

創業100周年の感謝を込め、いつもとは趣向を変えて、  
副社長からお勧めの本をご紹介します!!



①『彼方への挑戦』  
著者:松山 英樹 出版:徳間書店 価格:¥1,650(税込)

ご存じプロゴルファー松山英樹氏の自叙伝。幼少期からマスターズ優勝までの歩みが丁寧に描かれています。ゴルフファンでもそうでなくても読み応えのある一冊です。特に私の心に響いたのは、彼の“スーパーネガティブ”で“スーパーポジティブ”という考え方。物凄く準備して物凄く前向きに行動する。この両面を持ち合わせていることが彼を彼たらしめているのだと思いました。そして“才能は有限、努力は無限”という言葉。努力は後天的に身につけられるもの。言い訳とか、している暇はないと思えましたね。

③『サイコロジー・オブ・マネー 一生お金に困らない「富」の mindset』  
著者:モーガン・ハウセル 出版:ダイヤモンド社 価格:¥1,870(税込)

お金の付き合い方を教えてくれた一冊。こちらは最近読んだ中で一番当たりの本です。著者は投資家ですが全く投資ノウハウは書かれておらず、副題の通り“mindset”がテーマです。「お金は何のために必要か」→「自分の時間や考えをコントロールするために」。一日は誰でも24時間しかありませんが、お金がないと仕事に費やしたり、やりたいことを諦めたり、遠回りしたりしなければならぬケースが増えてしまいます。“お金に対して長期的に考え、お金の使われぬように”と考え直させられる一冊でした。

②『黒牢城』  
著者:米澤 穂信 出版:角川書店 価格:¥1,760(税込)

1578年、織田信長に反旗を翻して有岡城に立てこもった荒木村重の話。「直木賞受賞」というPOPの下、残り一冊だったため、つい購入。エンタメ要素ありのミステリー小説で、歴史小説をあまり読まない方にもお勧めです。組織が一つのベクトルにまとまって進むことがいかに大変なことかを感じ取れるなど、大将に試される統率力がテーマの、ある種リーダーシップ論。城主の孤独とトップの孤独が何となくダブリました。あと探偵役として登場する黒田官兵衛。彼をお好きな方にもお勧めです。主人公とのやり取りは興味深いですよ。

④『上流思考 「問題が起こる前」に解決する新しい問題解決の思考法』  
著者:ダン・ヒース 出版:ダイヤモンド社 価格:¥1,980(税込)

“上流階級”ではなく“川上”のことです(笑)。“根本原因にアプローチして問題解決をしろ”ということが書かれています。当社では、先行管理という言葉をよく使います。これは先に起こることを予測し、計画・遂行していこうということです。例えば営業スタッフは、翌日の日報を前日に記入しますが、これも一つの上流思考だと思います。起き得る可能性のある問題に事前に気付くことが重要だということです。より上流で考えることの大切さを改めて認識することが出来た良書です。お勧めですので、ぜひご一読ください。



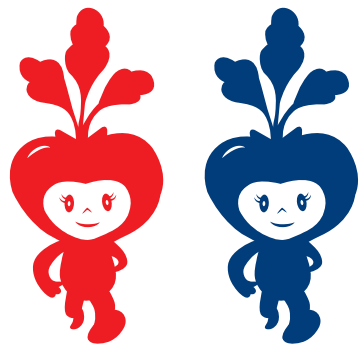
## ぶちデザイン講座 for ノン・デザイナーさん

### Lesson#9 赤は進む?青は退がる?

赤信号で“進む”はNGですよ!逆に青信号で止まってしまうと事故になってしまいます。デザインの世界ではそうとも言えないんです。今回はそんな色の効果について紹介します。



どっちが手前に見える?



進出色



後退色



色の中には進出色と後退色があります。

一般的に暖色系は手前に、寒色系は奥に見える性質があります。このような色の特性を使ってデザインに仕掛けを作るのも一つの方法です。

### ～編集後記～

▲「プレゼント」にまつわる話題をコマダグループ内で調査したところ、賛否両論だったのが「カタログギフト」でした。贈る側としては便利ですが、もらった側してみると「意外に欲しいものがない」という声。確かに眺めている分には楽しいのですが、選びあぐねて放置し、気がつけば引き換え期間ギリギリ!という経験をお持ちの方もいるのでは?ちなみに、贈り主には引き換え状況がカタログ会社に報告されているとかいないとか。これも何気にお互いプレッシャーだったりしますよね。

▲逆に「気がきいている」と思ったアイデアをひとつ。私の知人は入院見舞いの品として高級スーパーなどでよく目にする「ちよっといミネラルウォーター」を何種類かセレクトしてプレゼントしているそう。水なので相手の好みも気にしなくていいし、日持ちがして、なにより「普段は自分で買わないような高級アイテム」を試せて気分も上がる!とくれば、ということなし。たとえ面会制限があったとしても、差し入れとして届けられ、喜んでもらえて贈った側のセンスや印象度もアップしそうですね。



VOL. 72 2022

駒田印刷株式会社

この情報紙は駒田印刷とお取引頂いたお客様や、名刺交換をさせて頂いた方に、季刊で役立つ?楽しい?情報をお届けしています。どうぞ皆様でご覧ください。また、毎月同梱している人気のオマケグッズも、ぜひデスク周りやご家庭でお使いください!

Tel:(052)331-8881(代) Fax:(052)332-3178 <https://www.kp-c.co.jp>



ゆうメール



ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C118254

2022 SPRING /

# 99周年の春

## サラダ劇団に期待の新人登場!

駒田印刷は創業100周年まであと1年!そんな春に加わった4名のルーキーたち。フレッシュかつ個性あふれる持ち味で、サラダ劇団も一層にぎやかになりました。まだまだ緊張気味ですが、お会いした際は趣味の話題などをふっていただければと。まずは手始めに「こまた」のお題で意気込みを作文にしてみました!



足立 萌々 (あだち・もも)

千田 拓実 (せんだ・たくみ)

及川 結貴 (おいかわ・ゆき)

澤崎 大陸 (さわさき・だいろく)

Q. サラダ劇団のキャラだったら?  
A. かぼちゃ  
一大行事であるハロウィンを担うほどの存在だから。

【趣味】アニメや漫画などの架空のグッズをデザインするのが得意です。  
【やってみたいこと】将来は映像広告を手掛けてみたいです。

こまた 意気込み作文 /  
これからお世話になります。  
まだまだ何も知らない未熟者ですが、活躍できるよう頑張ります!

Q. サラダ劇団のキャラだったら?  
A. 梨  
みずみずしさが新入社員の自分にマッチ?

【趣味】アニメや漫画、スポーツ観戦(サッカーや野球)の話がふってくると嬉しいです!  
【やってみたいこと】推し活などのオタク文化。

こまた 意気込み作文 /  
向上心を忘れずに  
まだ見ぬ世界でも  
大胆不敵に頑張ります!

Q. サラダ劇団のキャラだったら?  
A. さつまいも  
煮たり蒸したり焼いたり、加工の幅が広くスイーツにもおかずにもなる無限の可能性!

【趣味】美術(特に日本美術)とアイドルが好きです。  
【やってみたいこと】色に関する知識や、アジアの言語にも興味があります。

こまた 意気込み作文 /  
駒田に入社出来たのは  
まちがいでなく運命だと思います。  
せる力を全部だして頑張ります、よろしくお祈りします。

Q. サラダ劇団のキャラだったら?  
A. にんじん  
オレンジ色が好きなので。

【趣味】漫画(ドラゴンボール)、アイドル、ロックバンド。それと小さな魚が好きです。  
【やってみたいこと】デザインやアイデアワーク。

こまた 意気込み作文 /  
こうこうと輝く  
まなざしは  
第一歩を踏み出す未来の光。

Special オマケ

駒田印刷は“来年4月で創業100周年”を迎えます!

ついに来年4月で創業100周年。皆様への感謝を込めたアニバーサリー案内冊子です。



100th anniversary

みんなに聞いたライフハック

# あなたの毎日に なるほどヒント!

第2回

もらって・あげてよかったプレゼントは?

コマダグループのメンバーから暮らしのちょっとした知恵をご紹介します。  
今回はお祝い事が多い春にちなんで、プレゼントについて。  
成功例や気をつけたいポイントなど、参考にいただければ幸いです。

卒業式の後、**先輩たちに胴上げ**してもらった経験は、普段味わえない感動でした!  
(伊勢出版 梶川行洋)



ラジオショッピングで小耳にはさんだ**高性能シャワーヘッド**を親に贈った友人がいます。同居なので結局自分も使えて一石二鳥だそうです。  
(駒田印刷 中村裕次郎)



もらってウレシイ

## NICE!

こんなプレゼントはどう?



誕生日のサプライズとして、都内各所に**指令書を置いて巡らせ**、最後はみんながいる場所にたどり着かせて「おめでとう!」で迎える...というのが一時期仲間内で流行りました。  
(エイコープリント 田村耕)



一人暮らしを始めた頃、友人から**電子レンジで作るゆで卵容器**をもらい、今も愛用しています。友人の一人暮らし経験に基づいた心遣いと「なくても困らないけど、あると便利」というのがポイントですね。  
(駒田印刷 橋本菜汰)



津の銘菓**「平治煎餅」**はオリジナルの刻印ができるので、お世話になった方におすすめ。  
(伊勢出版 松尾章子)



いつも涙あふれるサッカー少年団の卒団式、保護者のみなさんに**オリジナルデザインのポケットティッシュ**を差し上げたら、とても喜ばれました。  
(伊勢出版 杉原信一)



ちょっとモヤモヤ

## NO GOOD!

もらって困ったもの・いらぬもの

※ 贈り主に配慮して、匿名といたします。

- × 某社の社長の顔写真入りワイン。
- × 名入れの品は使いづらい、捨てづらい!
- × デザイン性が高いものは、かえってその個性が自分の趣味に合わないことも。
- × 健康系グッズはその人の体に合わないこともあるので注意。
- × 某工場の給料袋にお金ともに入っていたネジ。その会社の習わしらしいですが、ちょっと不思議でした。
- × 海外の謎の置物や、甘すぎるチョコ、トリッキーな色や香りのコスメ。
- × 藤井隆のサイン入りポスター。なぜ??
- × 生きた毛ガニ。



ちなみに寄せられた声の中で多かったのは、家族にあげたりもらったりしたプレゼントの思い出。いずれも普段は言えない感謝の気持ちにほっこりするエピソードだったのが印象的でした。贈り物の満足度はモノもさることながら、その人との関係性や相手をどれだけわかっているかで左右されるのかもしれないね。

Good Company, Good Job!

# きらりと光る 企業さん

このコーナーでは弊社とお付き合いのあるお客様の事業や魅力をご紹介します。今回は高校生と企業・地域社会とを結び、キャリア教育・社会体験活動などのプログラムを通して課題解決に取り組む一般社団法人アスバシさんの取り組みをお伝えします。



「マイチャレンジ・インターンシップ」の成果発表会の1コマ

一般社団法人アスバシ 様

■設立 2012年  
(2017年 一般社団法人アスバシ教育基金より改称)  
■所在地 名古屋市熱田区沢下町  
(愛知私学会館東館)  
<https://asubashi.org/>



## 高卒就職の新しい価値「早活」を社会に広げる

少子高齢化に伴う人手不足は深刻な問題。若者をいかに社会の担い手へと育てていくかは、企業や地域の諸団体にとって共通の課題です。一方、高校生は社会経験が不足していることもあり、成績や目の前の条件で「とりあえず」「なんとなく」「しかたなく」進路を選びがちです。この状況を変えるべく2012年にスタートしたのが一般社団法人アスバシさん。高校卒業の18歳になるまでに若者が主体性を持ち、新たな可能性にチャレンジする未来の担い手として育つことを「早活」と総称し、多彩な事業を展開しています。

核となる事業は高校生に向けたキャリア教育。その中でも、春休みや夏休み中に企業で体験するインターンシップ「マイチャレンジ・インターンシップ」を経験することで、自分の可能性に目覚め社会人として自立する意識を芽生えさせるお手伝いをしています。また、進路選択に迷う高校生には、学校・教員と連携を図り、個別に面談も行うなど、生徒が主体的に進路を選択できるよう、一人ひとりに寄り添った事業も行っています。一方、高卒就職を実施、検討している企業に対しては、高卒で働く社員の活躍を取り上げた、高校生の18歳のキャリア選択を豊かにする情報誌「@18ch(アットエイティーン)」を学校・高校生に広く普及することで、地域で活躍する企業・大人を高校生が知り、視野を広げるとともに、高卒就職の新しい価値「早活」を社会に広めています。

さらに、高卒採用に関わるセミナーの開催や、求人票へのアドバイスなど、大卒採用とは異なりさまざまな制約が多い高卒採用においてきめ細かなフォローを行い、学校や進路指導の先生、そして生徒に企業をしっかりと認識・理解してもらうことで、進路選択の幅を広げています。

高校から社会へ出るまでのキャリア教育を幅広く支援するアスバシさん、すべての若者が明日の社会の担い手になれる仕組み・環境づくりへのさらなる挑戦は続きます。

## Information

### News 1

#### 『名古屋市SDGs推進プラットフォーム』に駒田印刷が会員登録されました。

名古屋市では、市域全体におけるSDGsの取り組みの一層の向上を図るため、SDGsの理念に基づいて持続可能な地域・社会づくりに取り組む企業・団体・大学等を会員とする「名古屋市SDGs推進プラットフォーム」を設置しています。プラットフォームに登録した会員の取り組み等について発信するとともに、会員同士の連携強化やパートナーシップ構築を促進することで、産官学民でSDGsの推進力を生み出し、「世界に冠たるNAGOYA」を実現していきます。

駒田印刷ではSDGs17ゴールの内、特に「つくる責任、つかう責任」に注力(環境負荷の小さい材料の利用など)しています。



<https://sdgs-pf.city.nagoya.jp/>



### News 2

#### 『カレンダーデザイン・コンテスト』をコマダグループ3社で開催中!

コマダグループのデザイナーたちが、自身で考えたオリジナルデザインのカレンダーで腕を競う、社内コンテストを開催しています。毎月1名のデザイナーが作品を発表。1年間かけて1案ずつ社内に掲示されます。最後は社員全員でどの作品が一番良かったかを投票で決定。選ばれたデザイナーにはステキな賞品が贈られます。デザインの技術、モチベーション向上を狙ったこの企画。毎月どんなカレンダーなのか皆も楽しみです!!



2月の作品



3月の作品